

福岡市合葬墓等整備設計提案競技

評価講評

平成31年1月30日

福岡市合葬墓等整備設計提案競技選考委員会

福岡市合葬墓等整備設計提案競技選考委員会（以下、「選考委員会」という。）は、福岡市合葬墓等整備設計提案競技（以下、「本提案協議」という。）に関して、福岡市合葬墓等整備設計提案競技説明書（平成30年10月17日公表）（以下、「説明書」という。）の選考基準に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、評価結果および評価講評をここに報告します。

平成31年1月30日

福岡市合葬墓等整備設計提案競技選考委員会
委員長 朝廣 和夫

1 選考委員会の構成

選考委員会の構成は、以下のとおりです。

(役職は H31. 1 月時点)

	氏名	役職
委員長	朝廣 和夫	九州大学 大学院 芸術工学研究院 准教授
副委員長	鮎川 透	公益社団法人 福岡県建築士会 会長
委員	小谷 みどり	一般財団法人 シニア生活文化研究所 所長
委員	名古屋 泰之	福岡市財政局 理事
委員	宗俊 隆範	福岡市住宅都市局 みどりのまち推進部長

2 選考委員会の開催経過

選考委員会の開催経過は、以下のとおりです。

日程	会議名	主な内容
平成 31 年 1 月 7 日	一次審査	提案図書審査, 内容評価
平成 31 年 1 月 16 日	最終審査	ヒアリング, 内容評価

3 評価の方法

説明書の選考基準に従って、以下の 5 点から提案図書を評価しました。

- デザイン性（先進性、独創性、建築物とランドスケープの調和等）
- 的確性（計画方針や計画条件に対する整合性、コンセプトの理解度、機能性等）
- 実現性（周辺住環境への配慮、建設工程等）
- 経済性（コスト面の妥当性、長寿命化とライフサイクルコスト縮減への配慮、維持管理費の削減等）
- 技術力（構造面や設計面における提案力等）

4 評価の結果

(1) 一次審査

提案のあった 13 作品について、審査委員が各自提案図書を見て評価を行ったのちに、全審査委員で協議を行い、評価を行いました。評価結果をもとに市で判断し、一次審査通過者として 5 作品の提案者が選出されました。

(2) 最終審査

一次審査を通過した 5 作品について、各作品提案者によるプレゼンテーション及びその後の質疑応答によるヒアリングを行い、評価を行いました。評価結果をもとに市で判断し、最優秀作品として登録番号「50」、次点となる優秀作品として登録番号「65」が選出されました。

5 評価講評

(1) 内容評価の講評

最優秀作品 登録番号50

提案された作品は、合葬墓を計画地に隣接する山と一体的につくるもので、豊かな自然に抱かれたお墓となっており、故人を偲ぶための新たな風景を作り出すものです。鴻巣山の裾野に広がる平尾霊園の自然環境を活かした提案で、山や自然に向かって参拝する形式は、様々な市民が集う合葬墓に相応しいと高く評価されました。また、日常的に利用される広場空間と非日常的な参拝空間が、休憩スペースとなる円弧状の壁により機能的にも景観的にも違和感なく区切られた計画になっており、その点も高く評価されました。

優秀作品 登録番号65

提案された作品は、森の散策路のような空間の中にランドスケープに溶け込んだ合葬墓をつくるものです。洞窟のような参拝所において、採光口であるスリット状の割れ目から光を取り入れた「自然のカーテン」の創出によって原初的な祈りの場所を創出する、といった新たな墓地へのチャレンジングな提案が高く評価されました。しかし、一方で、合葬墓の上部への子どもたちの進入の懸念もありました。

(2) 総評

本事業において、選考委員会は、説明書の選考基準に基づき厳正かつ公正に評価を行いました。

各応募者の提案内容は、いずれも本事業に関する熱意を感じさせるもので、本事業の目的を踏まえた、創意工夫に富んだ優れた内容であり、大変レベルの高い提案でした。

また、提案図書の作成にあたっての努力については、いずれも高く評価しており、各応募者の方々に敬意を払うとともに感謝する次第です。

今後、各種設計を実施するに際し、合葬墓に対する市民の関心が高いことを踏まえ、各種設計をさらによりよいものにするために、最優秀作品の提案者においては、今後市と十分な協議を行い、特に以下の点について、配慮されることを要望します。

- ・“山に抱かれた合葬墓”という提案されたコンセプトを十分に活かした参拝方法、参拝空間および献花台等を検討すること。
- ・霊園利用者と管理者の視点に立って、安全面や維持管理面に配慮したものにすること。

本提案競技に基づく業務を実施するにあたり、豊富な実績と設計提案能力を有する最優秀作品の提案者と市が、お互い良好なパートナーシップのもと、平尾霊園の合葬墓を含むエントランス空間が、市民にとって、福岡市の将来にとって魅力的な場となるように期待します。